

細則様式第4号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏名	高橋 純平		
入学年度	平成 23 年度	学籍番号	11GG604
領域	健康支援科学	分野	老年保健学
審査委員	主査	對馬 均	
	副査	高見 彰淑	
	副査	千葉 正司	
	副査	若山 佐一	

論文題目： 脳卒中片麻痺者の歩行自立判定に関する研究

審査結果要旨：

脳卒中片麻痺患者は、高次脳機能障害等を筆頭に多様な症状を呈するため、これらの症状を加味した汎用性の高い歩行自立判定表への臨床におけるニーズは高い。このため文献検索により歩行自立判定の現状や特徴を把握したうえで、脳卒中患者を対象とする臨床の理学療法士への歩行自立判定に関する臨床推論過程のインタビューから、病棟内歩行自立判定表を試作した。そのうえで脳卒中片麻痺患者に適用できるか、理学療法士内及び担当者間で判定表としての信頼性と妥当性を検討した研究である。

これら3つの段階を踏む系統的な手続きで実施し、記述されていた。個々の理学療法士の臨床推論過程をインタビューにより明らかにするというユニークな手法を用いて、汎用性の高い歩行自立判定表を試作したことは新規性及び臨床上有用性が高いものである。

歩行自立判定表の妥当性については検討の余地は残るが、完成までの手続きとして明確な方向性が示されており、研究内容の意義、結果について十分に理解していることを、学位審査論文及び学位審査会において的確に示していた。

また、研究のために臨床の理学療法士や脳卒中患者のフィールドを確保し、研究協力を得るための倫理的手続きが行われており、独立した研究者として研究を遂行できる能力と高い倫理観を身につけていることが、学位審査論文及び学位審査会において判断できた。

以上より、博士の学位に相当し、合格と判定する。

最終試験 平成 26 年 2 月 1 日

試験の結果は 合格 と判定する。